



## 松之郷地区集排が供用、27日に通水式挙行 DoPa 網利用の監視システムも県内初稼動

＜千葉県東金市＞

千葉県東金市が取り組んできた農業集落排水・松之郷地区（11年度採択）の処理施設の整備が15年度末で概成し、4月1日付けで一部供用開始の公示を行うとともに、5月27日、同地区処理施設において通水式を挙行了。



志賀市長（右から2番目）と来賓3氏によるテープカット

20 第602号 平成16年6月8日(火)発行

集落排水情報

第3種郵便物認可



同地区の大きな特色は、千葉県内の農業集落排水事業としては初めて、iモード・インターネットを用いた遠隔監視システムを導入した点。NTTドコモの「DoPa（ドゥーパ）網」（パケット通信を利用したデータ通信ネットワーク）を通じて情報のやりとりを行えるため、携帯電話やパソコンにより、遠隔地から処理施設やマンホールポンプなどの運転状況の監視やデータ設定を行えるほか、日報・月報など報告書類の自動作成といった情報管理機能も備えている。同地区で採用されたのは、小松電機産業(株)（本社：島根県松江市）の上下水道監視管理システム「やくも水神」。これまで全国で約50ヵ所の処理施設と約800ヵ所のマンホールポンプで設置実績を挙げている、この分野では群を抜く人気商品だ。同地区では今



松之郷地区農業集落排水処理施設外観

回、処理施設の建屋内にプラント監視装置（パッケージ水神）、28ヵ所のマンホールポンプにはそれぞれ制御盤を設置して監視システムを構築した。同社担当者によると、集排事業での過去の同システム納入箇所のうち、28ヵ所もの中継ポンプを対象とした地区は前例がないとのこと。また、市が今年度に整備予定のマンホールポンプ2基にもそれぞれ制御盤を設置することになり、最終的には処理施設1・ポンプ30ヵ所を監視対象とする大がかりなシステムとして完成する。

市では同地区のほか、上谷（7年度採択、1320人）、嶺南正気西部（8年度採択、1780人）の2地区の集排施設がすでに供用しており、これらはコルソスによる音声通報装置で運転監視を行っている。今回、新世代タイプを導入した松之郷地区では、管理コスト（通信費など）の削減や省力化が図れるとともに、緊急時に迅速な対応が可能な体制を構築できるものと期待している。



式典終了後の施設見学の様子 最新タイプの監視システム（写真下）の説明に、参加者の関心も集まる

